

## 2013年(平成25年)度第6回常務理事会記録

日 時 2013年(平成25年)12月7日(土) 11:00~14:00

場 所 八重洲ダイビル第1会議室

出席者 河田光博(理事長)、寺田純雄、仲嶋一範、藤本豊士、渡辺雅彦(以上常務理事)、松崎利行、阪上洋行(以上常任幹事)、天野恵子、中村 聡(以上、口腔保健協会)

### I. 会議記録の確認

- (1) 2013年(平成25年)度第5回常務理事会(平成25年9月21日開催)記録(案)
- (2) 2013年(平成25年)度第5回理事会(平成25年9月24-30日開催)議事録(案)
- (3) 2013年(平成25年)度第6回理事会(平成25年10月1日開催)議事録(案)
- (4) 2013年(平成25年)度臨時社員総会(平成25年11月30日開催)議事録(案)

### II. 報告事項

#### 1. 庶務報告(渡辺庶務担当理事)

##### (1) 会員異動報告

平成25年9月分(入会者:正会員10名、学生4名、退会者:正会員6名、学生1名、名誉会員2名)

平成25年10月分(入会者:正会員3名、学生3名、退会者:正会員2名)

平成25年11月分(入会者:なし、退会者:正会員3名、代議員1名)

逝去会員 3名

酒井琢朗氏(愛知学院大学名誉教授/名誉会員)平成17年11月14日逝去(享年88)

北條暉幸氏(産業医科大学名誉教授/永年会員)平成25年5月8日逝去(享年79)

宮崎道雄氏(久留米大学名誉教授/名誉会員)平成25年9月20日逝去(享年86)

##### (2) 申請による代議員の申請状況について

資料に基づき平成25年度の申請による代議員の申請状況(平成25年12月31日締切)が報告された。

##### (3) 学会宛文書類について

① 通知・依頼:総務省より「平成24年経済サンセス活動調査 確認集計結果の公表について」他37件の通知・依頼あり。

② 書籍・定期通信等:製薬協より「製薬協ニューズレター No. 157」他18件あり。

##### (4) サージカルトレーニングについて

日本外科学会より送付されたサージカルトレーニング実施報告書に対する平成25年度第1,2回ガイドライン検討委員会の議事録について、資料とともに説明された。今後、サージカルトレーニングを実施する臨床系診療各科に対する日本外科学会のガイドライン内容の周知方法や検討委員会の位置づけに関して、日本外科学会の事務局に問い合わせることとした。

##### (5) 人体および人体標本を用いた医学・歯学の教育と研究における倫理的問題に関する提言について

ヒト由来の正常組織および病理組織顕微鏡標本の取り扱いに関する会員からの問い合わせに対する教育・若手育成委員会で検討された指針案が資料に基づき報告された。今後、日本病理学会と連携して検討を加え、関連学会との統一の見解として提言する方向で進めることとした。

##### (6) 従来解剖学教室における臨床解剖学教育・研究といわゆるガイドライン(臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン)における外科手術手技研修の相違点について

日本解剖学会の倫理委員会と解剖体委員会で取りまとめた標記内容の解剖学雑誌(88巻4号、平成25年9月1日発行)への掲載を日本外科学会に通達したことが資料とともに報告された。

##### (7) その他

特になし

#### 2. 編集報告(藤本編集担当理事)

##### (1) その他

特になし

#### 3. 企画・渉外報告(仲嶋企画・渉外担当理事)

##### (1) 解剖組織技能士への名称変更について

資料に基づき平成25年度臨時社員総会で解剖組織技能士への名称変更が承認され、文部科学省技術・学術政策局への報告が完了したことが説明された。

##### (2) 平成25年度奨励賞・解剖組織技能士功労賞について

資料に基づき申請状況が報告された。

##### (3) 2014(平成26)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき準備状況が報告された。

##### (4) 2017(平成29)年度総会・全国学術集会開催校について

資料に基づき開催希望の届け出について報告された。

- (5) 2015(平成27)年度総会・全国学術集会開催日程について  
河田理事長より、大会の概要と方針が資料とともに説明された。
- (6) 二級技能士審査結果について  
資料に基づき審査結果(合格者1名)が報告された。
- (7) 日本医学会報告  
仲嶋理事より資料に基づき第4回日本医学会分科会利益相反(COI)会議内容、医学研究のCOIマネジメントに関するガイドライン、日本医学会分科会基礎部会におけるCOIに対する対応状況が説明され、COI運用に向けて他の基礎部会の情報収集を進めることとした。平成26年2月19日開催予定の第81回日本医学会定例評議会に仲嶋理事が参加することとなった。
- (8) 生物科学学会連合報告  
資料に基づき生物科学学会連合第8回定例会議の内容が報告された。
- (9) その他  
特になし

#### 4. 会計報告(寺田会計担当理事)

- (1) 支部学術集会決算について  
資料に基づき、第23回関東支部懇話会、第59回東北・北海道連合支部学術集会、第73回中部支部学術集会の決算が報告された。
- (2) 平成25年度中間決算書について  
資料に基づき11月30日現在の中間収支決算について説明された。収入の部として受取会費と学会誌関連等の雑収益が増加したこと、支出の部として、会議費、旅費・交通費他の管理費関係等の変化につき報告された。法人化移行に伴い、ホームページ運営費と奨励賞・功労賞関係費、旅費、交通費、印刷費、法人経費等の執行率がやや高くなっていることが説明された。
- (3) ホームページリニューアルについて  
情報技術委員会による法人化に伴う和文ホームページの刷新とスマートフォン対応作業の完了と英文ホームページの内容が検討中であることが報告された。
- (4) その他  
特になし

### III. 審議事項、

1. 新入会員の承認について  
資料に基づき説明があり、20名全員の新規入会が異議なく承認された。
2. 教授就任による代議員について(庶務)  
資料に基づき説明があり、教授就任に伴う代議員の申請(1名)が承認された。
3. 名誉会員・永年会員の推薦について(庶務)  
資料に基づき説明があり、名誉会員と永年会員の推薦候補者が承認された。
4. 委員会主催の全国学術集会におけるワークショップ、シンポジウムへの開催補助について  
2件の開催補助の申請内容に関して資料に基づき説明された。審議の結果、非会員の講演者に対する旅費・宿泊費の実費を補助の対象とすることとした。
5. 役員選出細則の一部改正について(庶務)  
理事会での男女共同参画を促すための役員選出細則の一部改正案が資料に基づき提案された。審議の結果、現行の理事選挙方法は変更せずに、時限特別措置として理事長が役員選挙結果、男女共同参画の観点から、定款第18条で定める上限20名から現在の定数17名を差し引いた最大3名分を新理事が定時社員総会時に追加推薦できることとし、それに伴う役員選出細則の改定案を理事会に諮ることとした。
6. 各種研究助成の候補者推薦に関して(庶務)  
第5回理事会で承認された学会推薦の運用ルールに沿って、表彰・研究費公募に対する学会推薦候補者の審査方法、管轄委員会について審議され、平成26年度定時社員総会を目標に規約が作成できるよう継続審議することとした。
7. 弔慰に関する申し合わせの一部改正について(庶務)  
理事長経験者および学会への貢献を鑑みて必要と判断される名誉会員の逝去に関して、理事長、常務理事、理事、代議員などが葬儀に出席し、弔辞を述べるができるよう申し合わせ事項を変更するが提案され、承認された。
8. 入会申込書の一部改変について(庶務)  
入会手続き時の納入会費の対象年度を明確にするために、入会手続きの案内での説明文の変更と入力原票での入会希望年度のチェック欄の追加について資料とともに説明され、承認された。
9. 学会ロゴマーク作成について(企画渉外)  
資料に基づき、日本解剖学会ロゴマーク作成に関する行程案が説明された。審議された結果、ロゴマ

ークを会員から公募し、常務理事会、理事会において候補を絞り込んだ上で口腔保健協会会員システム「OHASYS」上での会員によるオンライン投票にて決定する案で合意された。

10. 2015（平成27）年度以降のASIにおける契約について（編集）

2015年末でASIのSpringer社との3年契約が終了し、本年度中に継続の有無を通知する必要があることが説明された。常務理事会に先立ち行われたSpringer社との情報交換会での内容を検討した結果、契約内容の見積もりを精査した上でSpringer社との契約を継続することです承された。

11. 合本の製作について（編集）

資料に基づき、解剖学雑誌とASIのバックナンバーの保管状況が説明された。現在、バックナンバーは冊子体のまま保管されており紛失などの恐れがあることより有償での合本制作が提案され、了承された。

12. 会員名簿作成について（会計）

資料に基づき、これまでの会員名簿作成の実績が説明され、次回会員名簿の作成の可否や在り方に関する意見が交換され、理事会ですさらに広く意見を募ることとした。

13. 事務委託契約について（会計）

口腔保健協会中村氏から資料に基づき、一般財団法人口腔保健協会との事務委託に関する平成26年度の再契約内容が説明された。契約内容に関して質疑応答し審議した結果、事務委託の再契約が了承された。

14. 平成26年度事業計画案について（理事長）

資料に基づき、平成26年度事業計画案の内容が説明され了承された。

15. 平成26年度仮予算書案について（会計）

資料に基づいて平成26年度仮予算書案が説明された。収入の部では、解剖学雑誌の刊行数の減少による著者負担金と広告掲載収入の減少、支出の部では、法人移行と名称変更に伴う経費（奨励賞、功労賞関係費、技能士認定業務費、ホームページ運営費）と理事選挙に伴う委員会運営費と印刷費の増額に対して、電話回線解約に伴う通信費と関東近郊での総会・全国学術集会の開催による旅費、交通費の減額が見込まれること等が説明され、了承された。

16. 標本の取り扱いについて（理事長）

資料に基づき、社会の人体に関する考え方の変化に伴い、胎児標本・人体標本の取り扱いに関する日本解剖学会としての理念を確認し検討するために、ワーキンググループの設置の必要性が説明され、承認された。

17. 常務理事会の日程の確認

平成26年2月8日（土）13:00～16:00 東京医科歯科大学で行うことを確認した。

18. その他

特になし